

ナンバリング	A②05	科目名	現代社会論<各論> 「人類学とフィールドワークー文化と伝統を学ぶー」		担当教員	松山 啓	
ディプロマポリシーとの関連性	②・③・④		担当形態	単独			
テキスト	適宜資料を配布			単位数 授業形態	4単位 演習	開講時期	通年
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民族誌の読解を通して人類学的な思考を理解し、説明できる。 ・大相撲に関する具体的な事例を考察し、「文化」や「伝統」という概念を理解し、説明できる。 ・フィールドワークを実践することで、他者理解の方法を学び、説明できる。 <p>■授業の概要</p> <p>文化人類学とは、フィールドワークを通して対象世界の「文化」や「社会」を研究し、人間とは何かを問う学問である。本授業では、人類学的な思考を学びつつ、フィールドワークを実施することで、理論と実践を往還しながら異文化と他者理解の方法を学習する。ここでは、現代社会における日本の相撲興行を対象とし、相撲部屋への参与観察や、両国の街歩きから「文化」や「伝統」をテーマにディスカッションをする。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 今後の授業計画の概説 第2回 文化人類学とは何か 第3回 文化人類学と民族誌① 第4回 文化人類学と民族誌② 第5回 フィールド演習：理論編 第6回 フィールド演習：実践編① 大学周辺を歩く 第7回 ディスカッション 演習の報告と考察 第8回 相撲の歴史① 第9回 相撲の歴史② 第10回 両国の歴史① 第11回 両国の歴史② 第12回 フィールド演習：実践編② 両国の街を歩く 第13回 ディスカッション 演習の報告と考察 第14回 民族誌を読む① 第15回 民族誌を読む② 第16回 伝統社会と近代社会① 第17回 伝統社会と近代社会② 第18回 徒弟制度と学習① 第19回 徒弟制度と学習② 第20回 フィールド演習：実践編③ 再び大学周辺を歩く 第21回 ディスカッション 演習の報告と考察 第22回 フィールド演習：実践編④ 相撲部屋に参加する 第23回 ディスカッション 演習の報告と考察 第24回 一年間のまとめ</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に示された課題やテーマの概要を調べておくこと。 ・事前の授業準備において、コメントや質問を考えておくこと。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・コメント - 30% ・フィールドワークの調査報告・発表 - 30% ・レポート - 40% 							
参考文献	岸政彦・石岡丈昇・丸山里美 (2016)『質的社会調査の方法ー他者の合理性の理解社会学』有斐閣。 新田一郎 (1994)『相撲の歴史』講談社。 マリノフスキ、ブランズワフ (2010)『西太平洋の遠洋航海者』増田義郎訳、講談社。 ラトゥール、ブルーノ (2008)『虚構の「近代」ー科学人類学は警告する』川村久美子訳、新評論			特記事項	フィールドワークにおける交通費等は各自負担。授業課題等に関する補足資料は適宜PDFファイルなどで共有する。 【課題等へのフィードバック方法】 レポート・報告・発表に対するコメントを実施する。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修			幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容							